



渡辺 大直

小玉学芸員から、小代の大日堂と長楽寺で行われる大日祭を調べたいと相談があった。

教わった。これが季節繁殖だ。大日祭を1月に行うのは美方郡ならではの習慣といえる。興味をかきたてられ、ついて行くことにした。

小代の大日祭は前に紹介したが、長楽寺でも行われているのは知らなかった。毎月28日は大日如来の縁日で、美方郡は季節繁殖だったので、ベビラッシュとなる1月に牛の安全や家内安全を祈願する大日祭を行うという。

美方郡では雪が溶け、ビタミン豊富な草を食べることができ、受胎率が上がる春に種付けしたので、冬に生まれる子牛が多いと、かつて先輩に

小代の東垣にある大日堂は、村の人たちによって建てられたお堂で、そこで住職によるご祈禱はない。農家は三々五々お参りし、近くのお寺でご祈禱されたお札を受け取り、囲炉裏を囲んで、甘酒を飲みながら話をする。昔から続く、手作り感いっぱいの大日祭だ。

久々に行って、新たな発見もあった。まず、大日如来像の前に掲

げてある小代一揆の絵馬を再

ある「名牛ぬい号之碑」は、ぬいを埋葬した墓だと知った。それで前田周助と田尻号の顕彰碑を小代物産館前に移転する時、移さなかったという。

鹿汗を、ごちそうになり、村

岡の長楽寺に向かう。

長楽寺は、釈迦如来、阿弥

陀如来、薬師如来の3大仏が有名だ。大日如来がないのに

なぜ大日祭なのだろうという

疑問から住職に伺った。

この寺は奈良時代の僧、行

基が創建した八鹿山薬師寺が

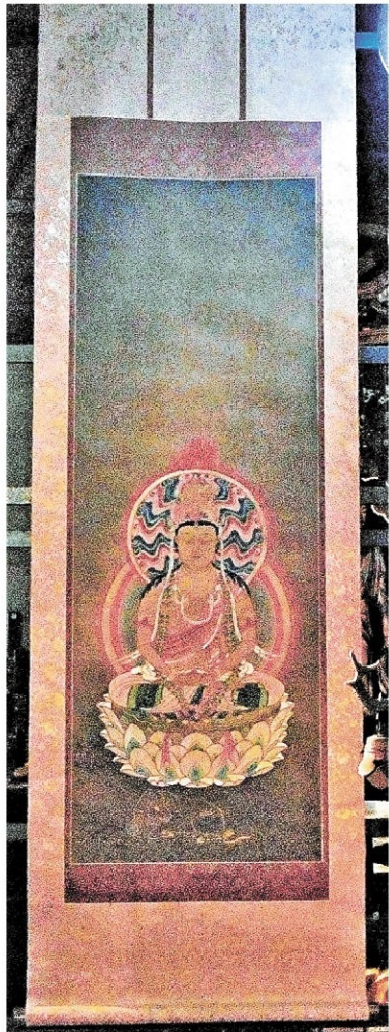
前身で、薬師如来が本尊だ。

しかし真言宗には特定の本尊

はなく、曼荼羅の中心にある

大日如来もお祀りする。それ

大日祭めぐり



大日如来像の掛け軸



掛け軸に描かれた牛の絵

で昔から1月28日に大日祭を行ってきたという。

現住職になってから、寺に所蔵されていた大日如来像の掛け軸をかけ、ご祈禱している。その掛け軸を間近で見せていただいた。この掛け軸には、大日如来の前に座る牛が描かれている。初めから描かれたのか、後で描きたのか判別できないが、お寺の住職でもある小玉学芸員が、牛の絵がある大日如来像は聞いたことがないという珍しいものだ。ともあれ、牛の安全を願う大日祭にふさわしい大日如来像だ。

昔は参拝する農家が多かったが、牛を飼育する農家が減った近年、参拝者はめっきり少なくなったという。

今回の大日祭めぐりで、新たな発見がいくつもあった。大日如来は、農家にとって

牛の安全を願う仏様だが、但馬牛博物館にとっては、調べたり、記録しなければならぬことを教えてくれる仏様だった。

■筆者プロフィール■

わたなべ・ひろなお

1954年、新温泉町浜坂出身。県職員として畜産行政に長年携わってきた。県立但馬牧場公園「但馬牛博物館」館長。